

令和 5 年度事業報告

(令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)



公益財団法人 九州経済調査協会
KYUSHU ECONOMIC RESEARCH CENTER

令和 5 年度事業報告について

事業報告

定款第 5 条に基づき、令和 5 年度は以下の事業を実施した。(総括)

1. 地域経済研究事業 (1) 自主研究事業 ①九州経済白書の刊行 ②月報等定期刊行物の発行 (2) 受託研究事業 (3) 九経調地域研究助成事業 (4) 休眠預金等活用事業（ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業） (5) おでかけウォッチャー事業	③幹事会からの提案による自主研究 ④地域経済情報のデジタル配信 ⑤その他の事業
2. 講演会・セミナー事業 (1) 九州・沖縄・山口でのセミナー等 ①九州経済白書説明会 (2) 定例の講演会・セミナー ①九経調交流会 ②アジア経済講演会 (3) BIZCOLI でのセミナー・イベント ①ビズコリトーク（イブニングセミナー） ②地域経営セミナー ③共催セミナー ④九州国立博物館応援セミナー	③調査技法セミナー ④経済講演会 ⑤サイエンス・カフェ ⑥BIZCOLI 倶楽部 ⑦ビッグデータセミナー
3. 経済図書館（BIZCOLI）事業 (1) 地域経済図書館としてのサービス (2) 会場室の利用状況 (3) スキルアップ・リモートワークのための個室空間の提供	
4. 経済団体等支援事業 (1) 福岡経済同友会の事務局 (2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局 (3) 地域政策デザインスクールの事務局 (4) 九州地域ソーシャルビジネス・コンソーシアムの事務局	
5. 社会貢献活動等 (1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣 (2) 大学への非常勤講師の派遣 (3) テレビ・ラジオ等への出演 (4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載 (5) インターンシップの受入等	
6. 会務運営 (1) 理事会・評議員会・幹事会・企画委員会・参与会の開催 (2) 財務経理・人事労務並びに人材育成の強化 (3) 会員維持・拡大	

1. 地域経済研究事業

(1) 自主研究事業

自主研究事業では、「①九州経済白書の刊行」「②月報等定期刊行物の発行」「③幹事会からの提案による自主研究」でレポートを作成・発表するとともに、Web サイトを通じて「④地域経済のデジタル配信」に取り組んだ。

①九州経済白書の刊行

「九州経済白書」は 1967 年の刊行以来、その年の経済・社会情勢を踏まえて、毎年テーマを変えながら調査・研究を行っている。2023 年度は、「人手不足時代に立ち向かう九州～労働供給制約下の持続的成長に向けて～」を刊行した。九州地域における人手不足の現状分析や将来予測を行うとともに、企業における人材不足や働き方改革への対応、企業・地域の先進的な取り組みの分析を行い、企業・地域の今後のあるべき姿を検討した。

②月報等定期刊行物の発行

1) 九州経済調査月報

「九州経済調査月報」は九州・沖縄・山口の経済動向を見据えながら、毎月テーマを設定して刊行している。5 月号ではインターネットの新しい潮流である Web3 やメタバースについて、基本的な概念や、九州での取り組みについて紹介した。10 月号では、西九州新幹線開通 1 周年に合わせて「西九州新幹線開業 1 年の効果と影響」を企画し、榎長崎経済研究所と共同研究を実施、波及効果や企業への影響について取り上げた。

幹事会からの提案による自主研究と連動して、9 月号では「シン・シリコンアイランド九州への道筋」、12 月号では「シン・シリコンアイランド九州の展望と発展の方向性」をテーマに取り上げた。さらに、1 月号では半導体に関連する講演録や経済波及効果のレポート、2 月号では JASM の企業紹介記事を掲載した。

3 月末に発行した 4 月号では、休眠預金事業の期間が終了するのを受け、「ソーシャルビジネス・アイランド九州に向けて」を企画し、事業の成果を掲載した。あわせて、休眠預金事業とは別の受託調査で実施した社会起業家に関するシンポジウムについても、講演録を掲載した。

発行日	内	容
5 月号 5 月 8 日 (月) 発行	特 集 (Report)	Web3・メタバース Web3・メタバース 食品トレーサビリティへのブロックチェーン技術の応用とその課題 インフラ分野におけるメタバースの活用 「e スポーツ施設 esports Challenger's Park (チャレンジャーズパーク)」の 取り組みと今後の展望 ～Web3 時代に向けて～
	(連載)	One point 水際措置の緩和に伴い回復途上にある入国者数 ～法務省「出入国管理統計」の分析

	価値創造の源流 (70) F.MED(株) (福岡市中央区)	
6月号 6月6日 (火) 発行	特 集 (Report)	九州の地域研究 2022年度 九経調地域研究助成事業 人口減少社会のまちづくりにおける政策評価の「モノサシ」に関する研究 ～九州各都市における中心市街地活性化の取り組みを対象として～ 九州の在日ネパール人とコロナ禍 ～ネパール人はコロナ禍にどのように対処しているのか 人と暮らしを基軸とした持続可能な地域づくり ～起業×ネットワーク化＝エリアの価値向上 (Topic) 新型コロナウイルス感染拡大による都道府県別経済影響度分析 (連載) 新型コロナウイルス感染症の流行下における住宅需要 ～国土交通省「建築着工統計調査 住宅着工統計」の分析
7月号 6月30日 (金) 発行	特 集 (Report)	地域における DX の現在 障害者就労支援における DX 化に向けたテクノロジー活用導入と支援に向けて DX および情報配信による地域公共交通の活性化に関する調査研究 九州 7 県の自治体における RPA 導入状況について (講演録) 2022 年度 アジア経済講演会 経済大国インドネシア そのポテンシャルと実像 (連載) 価値創造の源流 (71) (株)クリエート (宮崎県門川町)
8月号 8月3日 (木) 発行	特 集 (Report)	インバウンド 九州におけるインバウンドツーリズム～コロナ後の観光戦略を考える 外国人の日本への往来再開。地域の持続可能性に寄与するツーリズムとは 九州での持続可能な観光振興への課題 ～コロナ禍を経ての変化など 2023 年度経済見通し (改訂) 民間消費を中心に緩やかな回復が続く (連載) アグリプレナーの実践 (25) (株)セラク南島原研究所 (南島原市)
9月号 9月4日 (月) 発行	特 集 (Report)	シン・シリコンアイランド九州への道筋 シン・シリコンアイランド九州への道筋 「半導体・デジタル産業戦略」の改定について 次世代 X-nics 半導体創生拠点形成事業における研究開発とトップ人材の育成について 新生・シリコンアイランド九州の実現にむけて～九州における半導体産業振興政策 ～TSMC の進出と熊本県の半導体産業振興施策について 沖縄県における半導体関連産業について (連載) シン・シリコンアイランドのコアカンパニー (1) 大分デバイステクノロジー(株) (大分市) 価値創造の源流 (72) ニュージャパンマリン九州(株) (国東市)
10月号 10月3日 (火) 発行	特 集 (Report)	西九州新幹線開業 1 年の効果と影響 西九州新幹線開業による交通体系と旅客流動の変化 『おでかけウォッチャー』でみる西九州新幹線開業による周辺地域の観光流動の変化 西九州新幹線開業による企業活動への影響 西九州新幹線開業による経済波及効果と沿線の官民による取り組み
11月号 11月2日 (木) 発行	特 集 (Report)	ダイバーシティ・インクルージョン経営 ダイバーシティの現状とインクルージョンへの移行 九州企業のダイバーシティ・インクルージョン推進による企業価値向上 心の豊かさを成長につなぐ「幸せコミュニティ」の実現～共助社会を実現する ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン・コミュニティ形成に向けて～ (連載) シン・シリコンアイランドのコアカンパニー (2) マクセル(株)九州事業所 (福岡県福智町) 価値創造の源流 (73) ハイנטツテック(株) (北九州市若松区)

12月号 12月5日 (火) 発行	特 集 (Report) (連載)	シン・シリコンアイランド九州の展望と発展の方向性 半導体政策をめぐるリテラシー：米国政策と対比しつつ わが国および九州における半導体産業の現状と今後 AIチップ設計拠点の取り組みと九州地域との連携 シン・シリコンアイランドのコアカンパニー (3) ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング㈱ (熊本県菊陽町)
1月号 12月27日 (水) 発行	特 集 (Report) (講演録) (連載)	九州の新たな1年 九州における半導体関連設備投資による経済波及効果の推計～九州地域間産業連関表を用いた分析～ 2023 半導体の地政学～新しい国際秩序と九州の戦略 九州の経済を読み解く (5) 国際環境と技術環境の変化で読み解く九州経済の可能性～平和の配当の消滅とデジタル化の新展開～ シン・シリコンアイランドのコアカンパニー (4) ローム・アポロ㈱ (福岡県)、ラピスセミコンダクタ社㈱宮崎工場 (宮崎市) 価値創造の源流 (74) LOCOBOT㈱ (宮崎市)
2月号 2月2日 (金) 発行	特 集 (Report) (連載)	九州の地域経済分析 2024年度九州経済見通し 個人消費が低迷も、旺盛な民間企業設備投資により3年連続で全国の成長率を上回る 九州地域間産業連関表の作成方法と活用 シン・シリコンアイランドのコアカンパニー (5) Japan Advanced Semiconductor Manufacturing㈱ (熊本県菊陽町)
3月号 3月5日 (火) 発行	特 集 (Report) (連載)	コロナ後の個人消費 消費・物価・賃金のオルタナティブデータからみるアフターコロナの九州経済の状況 新型コロナウイルス感染症の流行は生活者の購買行動と買物意識を変えたか？ ーコロナ禍前、本格流行期、5類移行後の比較ー 47都道府県の不規則変動成分からみた COVID-19 による各地域の製造業生産への影響度分析 季節調整法 X-12-ARIMA を用いて 価値創造の源流 (75) ㈱おいた CELEENA (大分市)
4月号 3月29日 (金) 発行	特 集 (Report) (講演録) (緊急レポート) (連載)	ソーシャルビジネス・アイランド九州に向けて 休眠預金等活用制度におけるソーシャルビジネス支援の現況と今後への期待 社会課題を解決するユノス・ソーシャル・ビジネス 九州地域におけるソーシャルビジネスの理解と活用 地域中核企業とソーシャルビジネスカンパニーに対するアンケートから 休眠預金事業を通じて九州に誕生した新たなソーシャルビジネスの芽 ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業の実行団体のビジネスモデル ソーシャルビジネス全国意識調査 (2024年) の分析 シンポジウム 社会を変える 地域を動かす「社会起業家の芽吹く九州」に向けて (緊急レポート) 2024年能登半島地震による観光人流の変化 「デジタル観光統計 (国内版)」による分析を通じて 九州の経済を読み解く (6) ソーシャル・ビジネスと社会課題の解決

2) 2024年版 図説九州経済

「図説九州経済」は九州地域経済の概要を図表や地図情報、データで判りやすく解説するもので、毎年1回刊行している。2024年版は、前年に続き九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」と連動した一体的なデータ提供を行った。

『2024年版 図説九州経済』 11月刊行

3) メールマガジン（九経調ニュースレター）

九州・山口におけるビジネスの動きをヘッドライン形式で配信する「KYUSHU BUSINESS HEADLINE」を月 2 回配信した他、当会主催・共催のセミナーや、当会の刊行物等の案内を配信した。

メールマガジン配信件数 123 件 （2023 年 4 月 1 日（土）～2024 年 3 月 31 日（日））

③幹事会からの提案による自主研究

幹事会からの提案を受け、2023 年度は半導体産業の調査研究を実施した。「政策編」として政府や地方自治体の半導体産業に関わる政策について取りまとめ、「提言編」として九州の半導体産業が復活を遂げるための戦略のあり方について取りまとめた。また、九州地域間産業連関表を開発し、半導体関連設備投資ならびにその生産による九州各県の経済波及効果の算出（2021～2030 年の 10 年間で九州全体で 20 兆円）を行った。さらに、「企業編」として、Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)（JASM）やソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)などの中核企業 5 社のレポートも取りまとめた。

これらのレポートは、九州経済調査月報 9 月号で「シン・シリコンアイランド九州への道筋」（政策編）、12 月号で「シン・シリコンアイランド九州の展望と発展の方向性」（提言編）の特集を組んで掲載し、2024 年 1 月号で経済波及効果を算出した。企業編については、9 月号から掲載を開始し、現在も継続中である。また、これらの研究成果をビズコリで開催するセミナー（ビズコリトーク）にて発表した。

シン・シリコンアイランド九州への道筋

九州経済調査月報 9 月号

シン・シリコンアイランド九州の展望と発展の方向性

九州経済調査月報 12 月号

④地域経済情報のデジタル配信

創立 70 周年記念事業で構築した九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」に関しては、掲載コンテンツの拡充および利用者の増加に向けた周知活動を行った。具体的には（公社）日本観光振興協会が公開をはじめたデジタル観光統計オープンデータのダッシュボードの提供を開始した。また、維持会員限定のデータ提供システムを構築し、第一弾として「九州・山口の海外進出」データの提供を開始した。また、データサラダの周知を図るべく、「60 分でわかる九州経済 入門編～図説九州経済 2024×DATASALAD の活用法～」セミナーを開催した。

なお、データサラダのユーザー数は、2023 年度で 6,500 人増加して累計で 4 万人を超えた。

⑤その他の事業

毎年、地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会に参加する他、国内外の主要会議への協力、国の出先機関や自治体幹部、九州主要企業幹部等との意見交換会などを行っている。

1) 国内研究会の開催、参加

A. 九州・沖縄地方銀行調査担当部長会議

1967年度より毎年2回、九州・沖縄の地方銀行や系列シンクタンクの部長級が集まり、各地の情勢報告と情報交換を行っている。

日 程	会 議 名	テーマ	講師・参加者	参加者数
7月13日 (木)	九州・沖縄地方銀行調査担当部長会議（宮崎）	幸せコミュニティ指標について	片山部長（講演）	12人
2月8日 (木)	九州・沖縄地方銀行調査担当部長会議（佐賀）	九州第5浮揚期実現へ その状況と条件	片山部長（講演）	12人

【加盟機関】

㈱FFG ビジネスコンサルティング	(公財) 地方経済総合研究所	㈱りゅうぎん総合研究所
㈱ちくぎん地域経済研究所	㈱大銀経済経営研究所	㈱おきぎん経済研究所
㈱佐賀銀行総合企画部	(一財) みやぎん経済研究所	㈱長崎経済研究所
㈱九州経済研究所	(公財) 九州経済調査協会	

B. 地方シンクタンク協議会

当会は、地方シンクタンク協議会に加盟しており、第36回地方シンクタンクフォーラム（山梨県甲府市開催）に出席した。また、九州・沖縄ブロックでの活動では、10月12日（木）に開催された交流会&意見交換会と、1月18日（木）に開催された若手交流会に参加した。

【九州・沖縄ブロック加盟機関】

(公財)福岡アジア都市研究所	㈱よかネット	㈱ちくぎん地域経済研究所	(公財)九州経済調査協会
----------------	--------	--------------	--------------

2) 国際会議の開催、参加

日 程	会 議 名	テーマ	講師・参加者	参加者数
4月19日 (水)	第22回 ICEP (International Conference Electronics Packaging) 2023 in Kumamoto	Keynote Speech : Evolution and Innovation of Silicon Island Kyushu (in Japanese)	岡野部長	565人
9月4日 (月)～6 日(水)	日韓海峡圏研究機関協議 会 2023 年度定期総会	SDGs と地域活性化	縄田理事長、 原口研究主査、 福田研究員	43人

9月13日 (水)	九州・韓国経済協力会議 2023	地域間交流の促進（万博、観光、産業、人材）	福田研究員	42人
11月10日 (金)～11日 (土)	第16回福岡・釜山フォーラム福岡会議 2023	・全体テーマ「日韓海峡圏時代を拓く基盤構築の促進」 ・第1セッションテーマ「若者交流で紡ぐ未来パートナーシップの共創～点から線、線から面の交流へ～」 ・第2セッションテーマ「福岡釜山間経済・民間交流活性化のための基盤構築」	縄田理事長、福田研究員	—

（２）受託研究事業

2023年度は合計60本のプロジェクトに取り組んだ。台湾 TSMC の熊本進出に伴い半導体産業関連で複数の受託調査を手がけており、技術動向や人材育成に加えて、同社の進出に伴う各方面への影響（人口動態、住宅、物流）や効果を把握し予測した。その他、中小企業の DX やオープンイノベーション、外国人との共生を促進するパイロットプロジェクト等、労働力不足に関わるテーマや、脱炭素や観光振興等の調査を受託した。また、こども家庭庁の発足に伴い多くの自治体が策定に着手している「市町村子ども・子育て支援事業計画」について、2自治体から策定業務を受注した。

【分野別受託研究一覧】

（統計作成・分析）		
1	地域別支出総合指数(RDEI)の作成・分析・検証業務	内閣府
2	景気ウォッチャー調査（九州地域）	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) (内閣府)
3	令和5年度 竹富町観光による経済波及効果増幅関連業務委託	沖縄県竹富町
4	令和5年度（2023年度）熊本県観光統計調査業務委託	熊本県
5	祝祭の広場に係る効果検証業務委託	大分市
（地方創生）		
6	「佐賀市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」の詳細調査・分析業務	佐賀市
（地域振興）		
7	福岡の歴史・文化を活かしたまちづくり懇談会支援業務	福岡商工会議所
8	福岡市産業用適地等現況調査業務委託	福岡市
9	地域政策デザインスクール支援事業	地域政策デザインスクール実行委員会
10	物流拠点設置における地域経済活性化の可能性に関する調査研究に係る基礎調査業務	(一社)地方自治研究機構
11	福岡市シティプロモーションサイトコンテンツデータ作成支援業務	(株)バズブック
12	人口動態等の調査	(株)福岡リアルティ
13	九州経済を考える懇談会の実施	(一財)九州オープンイノベーションセンター
14	佐賀県関係人口創出チャレンジ事業経済波及効果算定業務委託	佐賀県
15	観光業の DX に向けた調査業務委託	北九州市

16	佐賀県観光動向調査月次レポートフォーマット作成業務	佐賀県
17	佐賀県観光動態調査報告書（年報）雛形作成業務	佐賀県
（産業振興）		
①産業全般		
18	令和 5 年度 政策金融評価報告書に係る調査・分析等の支援業務	沖縄振興開発金融公庫
19	熊本県産業成長ビジョン見直しに向けた基礎調査業務委託	熊本県
20	中小企業の DX に向けた調査業務委託	北九州市
②半導体関連		
21	半導体産業をターゲットとする「多様な連合体の形成」のための将来ビジョン策定に向けた九州地域半導体産業動向調査一式	(国研)産業技術総合研究所九州センター
22	先端技術産業に係る実態把握調査及び産学官研究会設立支援業務	宮崎県
23	半導体サプライチェーン構築調査業務	(株)日本空港コンサルタンツ（北九州市）
③観光		
24	新福岡県立美術館に併設する飲食店に係る周辺市場調査業務	福岡県
④農林水産・食料品		
25	新しい日田の森林・林業・木材産業ビジョン改訂業務委託	日田市
26	森林資源流通実態調査業務	日田市
27	飯塚市農業振興計画	飯塚市
28	地域商社と連携した新たな商流構築にかかる調査サポート業務	(株)北海道二十一世紀総合研究所
⑤ 新産業・その他		
29	佐賀県化粧品関連産業集積による経済波及効果分析	(一社)ジャパンコスメティックセンター
30	2023 年度九州地域におけるオープンイノベーション促進事業に係る役務請負	九州経済産業局
31	北九州市サービス産業ポテンシャル調査業務委託	北九州市
32	九州大学創業支援ファンドによるインパクト測定業務	九州大学オープンイノベーションプラットフォーム
⑥不動産		
33	福岡市流入者・流出者の実像・実態把握に関する業務	福岡地所(株)/(株)福岡リアルティ
（社会資本）		
34	博多港における物流動向等調査業務委託	福岡市港湾空港局
35	「北九州市貿易統計」作成業務	(公社)北九州貿易協会
36	福岡市等スポーツ施設調査委託	福岡市
37	令和 5 年度まちなかウォークアブル取組事例等調査	九州地方整備局
38	BIM/CIM 活用実態調査整理業務	九州地方整備局
（雇用・人材育成等）		
39	熊本県における外国人の労働及び生活実態調査	JICA 九州
40	今後の県立高校のあり方検討に係る基礎データ調査等業務委託	熊本県
41	工学系学生支援プロジェクト事務局業務	メカトラックス(株)
42	九州管内教育機関等における人材教育・輩出ポテンシャル調査	(一社)九州半導体・デジタルイノベーション協議会
43	令和 5 年度地域経済産業活性化対策調査（九州地域における若手社会起業家等の発掘及びネットワーク構築可能性調査）	九州経済産業局
（医療・福祉）		

44	延岡市障がい児・者支援拠点等の整備可能性調査業務	延岡市
45	健康増進計画等策定業務委託	福岡県篠栗町
46	飯塚市子ども計画策定支援業務委託	飯塚市
47	令和５年度福岡市地域包括ケアシステム推進事業支援業務委託	福岡市
48	令和５年度福岡市在宅医療・介護連携推進事業支援業務委託	福岡市
49	大牟田市地域医療・介護連携ビジョン推進支援業務委託	大牟田市
50	大牟田市地域医療・介護連携ビジョン更新業務委託	大牟田市
51	「福祉施設における福祉教育に関するアンケート」調査に伴う集計・分析業務委託	福岡市社会福祉協議会
52	第３期八代市子ども・子育て支援事業計画策定等業務委託	八代市
(環境・脱炭素)		
53	直方市環境基本計画策定業務	直方市
54	令和５年度（2023年度）熊本連携中枢都市圏における温室効果ガスの排出量及び削減量にかかる報告書作成等業務委託	熊本市
55	2023年度スマート回収モデル調査事業（NEDO）に係る住宅用太陽電池モジュール廃棄実態等ヒアリング調査業務	(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター
56	令和５年度（2023年度）既設太陽光発電施設の長期安定電源化促進モデル事業業務	熊本県
(行財政)		
57	公有地活用検討業務委託	大分市
(その他)		
58	「おでかけウォッチャー」利用に係る研修会支援業務	(一社)佐賀県観光連盟
59	令和５年度 EC 物流マーケティング資料作成業務	エフ・ジェイロジ㈱
60	五島列島（下五島エリア）ジオパーク保全管理計画検討業務	五島市

（３）九経調地域研究助成事業

九経調地域研究助成事業は、九州の地域浮揚のための知恵やアイデア、人材を発掘するために、2014年度から実施している。2023年は、2月1日（水）～4月3日（月）の応募期間に22本の申請を受け、4月18日（火）に開催した「九経調地域研究助成委員会」において5本の助成先候補を選定、5月23日（火）の理事会にて助成先を決定した。また、2022年度に助成対象となった論文5本を九州経済調査月報6、7月号に掲載した。

審査結果

助成額：20万円助成／本

	テーマ	申請者・研究代表者
【テーマ①】九州地域における、社会経済の発展、産業振興、地域振興に関する調査研究		
1	九州地域を事例とした、地域振興の認識相違に関する研究 ～若者と社会の間（はざま）から読み解く～	宮崎大学地域資源創成学研究所 観光・地域経済・産業政策研究室 工藤 七海
2	東峰村における新たな地域コミュニティ形成に関する研究 - 内発的発展へ向けた住民支援体制の構築 -	島根県 中山間地域研究センター 主任研究員 東 良太
3	地域情報の発信が若者の地域への愛着と地域就職意思に与える影響と限界 - 北九州地域中心に -	九州産業大学 経済学部 講師 柳 永珍

4	福岡市内のクリエイティブ人材の拠点選択に影響を与える要因に関する調査	九州大学大学院人間環境学府 都市共生デザインコース博士課程 博士課程 岩淵 丈和
【テーマ②】 デジタルトランスフォーメーション（DX）による地域活性化に関する調査研究		
5	リテール DX を軸とした街づくりに関する調査研究	長崎県立大学大学院 地域創生研究科 地域社会マネジメント専攻 博士後期課程 黄 淑慎

九経調地域研究助成委員会 委員

氏名（敬称略）	所属・役職	備考
高木 直人	(公財)九州経済調査協会 理事長	委員長
安浦 寛人	(公財)福岡アジア都市研究所 理事長	
松田 美幸	(公財)九州先端科学技術研究所 特別研究員	
柴田 建哉	(株)西日本新聞社 代表取締役社長	
中村 航洋	(株)日本政策投資銀行 九州支店長	

*委員の所属・役職は委員会開催時

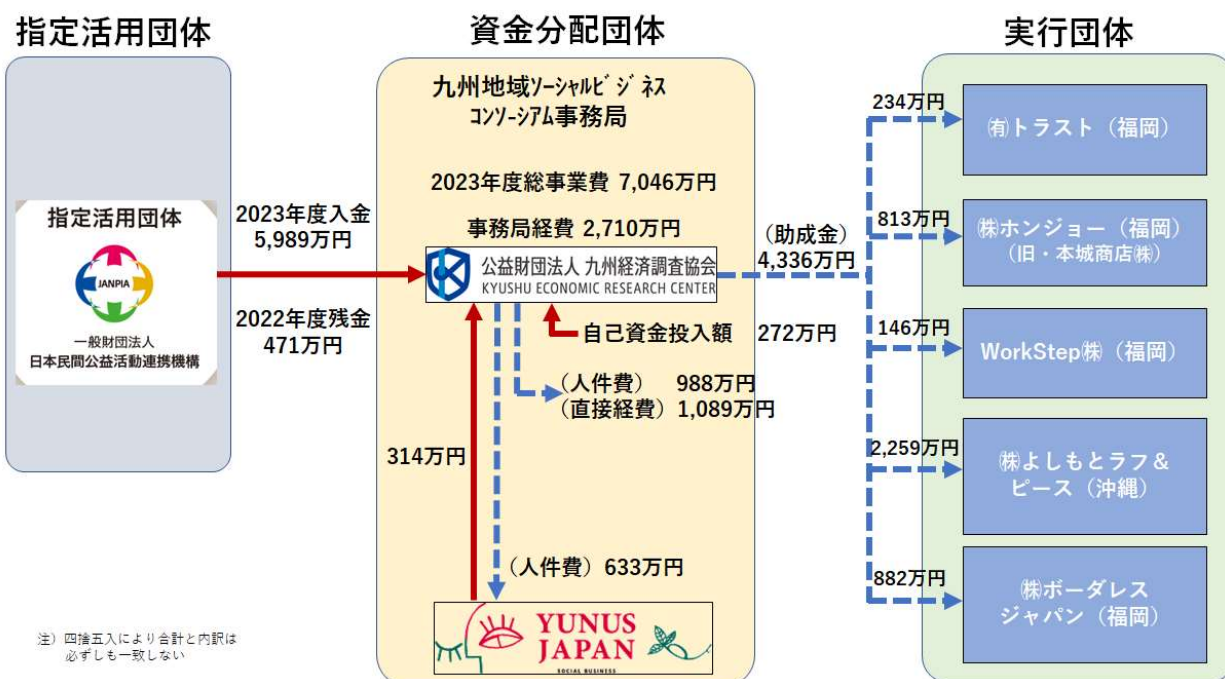
（４）休眠預金等活用事業（ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業）

2020 年度に休眠預金等活用制度による「ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業」に採択され、九州・沖縄・山口地域がソーシャルビジネスの先進モデル地域となることを目指した本事業は、2023 年度末をもって完了した。

審査委員会を経て選定された 5 つの実行団体（助成先）のソーシャルビジネスの伴走支援を行い、持続可能なビジネスモデルの確立を図るとともに、各種機関のネットワーク化、新たなソーシャルビジネスの起業誘発を図った。

事業成果は、九州経済調査月報 2024 年 4 月号でソーシャルビジネス特集を組み、「ソーシャルビジネス全国意識調査」「九州地域ソーシャルビジネス実態調査」「ソーシャルビジネスに関する民間企業の意識調査」の 3 つの大規模なアンケート調査結果を取りまとめるとともに、5 つの実行団体が本事業を通じて構築した新たなソーシャルビジネスについて紹介した。また、次頁に記載している 2 つのイベントを実施し、本事業の成果を報告するとともに、ソーシャルビジネス関係者の交流の場を提供した。加えて、5 つの実行団体を含む 12 団体のビジネスモデルを取りまとめた「ソーシャルビジネスケース集」を編纂し、全国の関係団体・ソーシャルアントレプレナー育成機関（大学等含む）へ送付するとともに、WEB を通じて無償公開を行い、ソーシャルビジネスの振興に役立つ情報を提供している。

休眠預金等活用事業の資金フロー（2023 年度）



(5) おでかけウォッチャー事業

「おでかけウォッチャー」は、スマートフォンの位置情報データを活用し、市区町村や観光スポット別に、来訪者数とその属性や発地、周遊先などを明らかにするビッグデータサービスである。2021年10月にサービスサイト（テスト版）を開設し、2022年10月から収益事業として正式に事業を開始した。

2023年度には、旅程分析（日帰り・宿泊）や時間分析を追加して機能を拡充した。また、インバウンドデータの検証やダッシュボード開発等を行い、2024年度からのサービス開始に向けて準備を行った。

なお、2024年3月時点で、無償で利用可能な基本サービスには465の自治体や観光関連団体（うち九州地域185団体）、有償のプレミアムサービスには63団体（うち九州地域28団体）が登録している。

2. 講演会・セミナー事業

会員の関心が高いテーマに関する情報を提供するとともに、当会の研究成果を広く伝えるため、講演会やセミナーを開催している。会場開催やオンライン開催、ハイブリッド（オンライン＋会場）開催を使い分け、2023年度は55回実施し、参加者数は延べ2,716人であった。

（1）九州・沖縄・山口でのセミナー等

①九州経済白書説明会（計12回）

2024年版九州経済白書「人手不足に立ち向かう九州～労働供給制約下の持続的成長に向けて～」の刊行後、九州・沖縄・山口の12都市にて開催した。

地区	日 時	会 場	主催・共催機関	説明者	参加者数
福岡	2月2日 (金)	FFG ホール	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)福岡銀行 福岡商工会議所	松嶋次長	170人
北九州	2月29日 (木)	FFG 北九州本社ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)福岡銀行 北九州商工会議所	松嶋次長	39人
久留米	3月13日 (水)	筑邦銀行本店	(株)筑邦銀行 久留米商工会議所 (株)ちくぎん地域経済研究所	松嶋次長	42人
佐賀	3月1日 (金)	佐賀銀行本店	(株)佐賀銀行	片山部長	21人
長崎	2月7日 (水)	十八親和銀行本店	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)十八親和銀行 (株)長崎経済研究所	松嶋次長	50人
佐世保	2月28日 (水)	FFG 佐世保ビル	(株)ふくおかフィナンシャルグループ (株)十八親和銀行 佐世保商工会議所	松嶋次長	18人
熊本	2月6日 (火)	くまもと森都心プラザ	(株)肥後銀行 (公財)地方経済総合研究所 熊本経済同友会	片山部長	61人
大分	3月6日 (水)	大分銀行 宗麟館	(株)大分銀行 (株)大銀経済経営研究所	松嶋次長	47人
宮崎	2月27日 (火)	宮崎観光ホテル	(株)宮崎銀行 (一財)みやぎん経済研究所	片山部長	90人
鹿児島	3月14日 (木)	鹿児島銀行本店別館ビル	(株)鹿児島銀行 (株)九州経済研究所	片山部長	48人
沖縄	2月22日 (木)	ダブルツリーby ヒルトン 那覇首里城	(株)沖縄銀行 (株)おきぎん経済研究所	松嶋次長	50人
山口	2月21日 (水)	シーモールパレス	(株)山口フィナンシャルグループ (株)山口銀行 (一財)山口経済研究所	松嶋次長	45人

（２）定例の講演会・セミナー

①九経調交流会 （１回）

当会会員との交流を目的に毎年開催している。2023 年度は東京大学 定量生命科学研究所 教授 小林武彦氏を講師に迎え、「ヒトはなぜ老い、そして死ななければならないのか～生物学者が語る新たな死生観」をテーマに講演会と懇親会をセットで開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
12 月 25 日 (月)	ヒトはなぜ老い、そして死ななければならないのか～生物学者が語る新たな死生観	東京大学 定量生命科学研究所 教授 小林 武彦 氏	講演会 117 人 (懇親会 48 人)

②アジア経済講演会 （１回）

1962 年以来、アジア経済研究所との共催で毎年開催している。2023 年度は 11 月に韓国を対象に、現地の情勢やホットトピックス、ビジネスの現状や将来性などについて研究者と実務者が講演する形式で、会場とオンライン併用のハイブリッド開催をした。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
11 月 21 日 (火)	韓国経済と九州のインバウンド	ジェトロ・アジア経済研究所 新領域研究センター 上席主任調査研究員 安倍 誠 氏 アジアフューチャー(株) 代表取締役 松清 一平 氏	会場 20 人 オンライン 76 人

*ジェトロ・アジア経済研究所、ジェトロ福岡、当会の 3 者共催

③調査技法セミナー （１回）

九州・沖縄・山口の地方銀行系シンクタンクの研究者を主な対象とした勉強会を毎年開催している。2023 年度は、生成 AI をテーマとした。

日 程	内 容	講 師	参加者数
9 月 13 日 (水)	シンクタンク研究員の仕事と生成系 AI との向き合い方	(一財)日本経済研究所 専務理事 兼 地域未来研究センター長 鍋山 徹 氏	32 人
	文章作成、生成系 AI に関する意見交換	—	
9 月 14 日 (木)	生成 AI 時代のシンクタンクの作文技術	阪南大学経済学部経済学科 教授 豆本 一茂 氏	32 人
	ChatGPT の基礎とうまく活用する指示出しのコツ(演習付き)	NOB DATA(株) 代表取締役 大城 信晃 氏	

参加機関

(株)FFG ビジネスコンサルティング	(株)福岡銀行	(株)長崎経済研究所
(株)地方経済総合研究所	(株)大銀経済経営研究所	(一財)みやぎん経済研究所
(株)九州経済研究所	(株)おきぎん経済研究所	沖縄振興開発金融公庫
(株)りゅうぎん総合研究所	(一財)山口経済研究所	(公財)九州経済調査協会

④経済講演会 （1回）

経済講演会については、「2030 半導体の地政学～新しい国際秩序と九州の戦略」をテーマに会場とオンラインのハイブリッド形式で開催した。なお、講演録を九州経済調査月報 1月号に掲載した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
9 月 19 日 (火)	2023 半導体の地政学 ～新しい国際秩序と九州の戦略	日本経済新聞 編集委員 太田 泰彦 氏	会場 116 人 オンライン 341 人

共催：(株)ふくおかフィナンシャルグループ

後援：(株)FFG ビジネスコンサルティング

(3) BIZCOLI でのセミナー・イベント

BIZCOLI では、自主事業として数多くのセミナーやイベントを開催しており、2023 年度は合計 39 回実施した。リアル開催も復活し、オンライン形式、ハイブリッド形式（オンライン＋リアル）で開催した。

①ビズコリトーク（イブニングセミナー） （計 13 回）

当会研究員や当会月報への寄稿者によるセミナーを毎月開催している（WEB 配信のみの開催）。オープンイノベーション、シン・シリコンアイランド九州、九州の地域経済分析、西九州新幹線開業 1 周年の効果と影響等をテーマに研究成果を報告した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4 月 11 日 (火)	オープンイノベーション	GxPartners LLP (一社)代表パートナー 岸原 稔泰 氏 (株)ブリヂストン 上席主幹 真玉 修司 氏	33 人
5 月 16 日 (火)	Web3・メタバース	中村学園大学 眞次 一満 氏、九州地方整備局 建設専門官 房前 和明 氏、(株)e スポーツ事業グループ長 小橋 勝之 氏	26 人
6 月 13 日 (火)	九州の地域研究	東京大学大学院 吉次 翼 氏、日本経済大学 専任講師 太田 智之 氏、福岡県地方自治研究所 特別研究員 鄭 ハナ 氏	21 人
7 月 11 日 (火)	地域における DX の現在	福岡リハビリテーション専門学校 白澤 愛美 氏、九州大学 助教 内林 俊弘 氏	16 人
8 月 8 日 (火)	インバウンド	(株)日本政策投資銀行 小野 敬一郎 氏、(株)美ら地球 CEO 山田 拓 氏、九州産業大学准教授 室岡 祐司 氏	29 人
8 月 22 日 (火)	【特別編】2023 年度九州経済見通し (改訂)	当会 事業開発部 相川研究員、河村研究員	39 人
9 月 12 日 (火)	シン・シリコンアイランド九州 への道筋	九州経済産業局 課長補佐 田中 幸仁 氏、熊本県 商工労働部長 三輪 孝之 氏、当会 岡野常務理事、事業開発部 相川研究員	62 人
10 月 10 日 (火)	西九州新幹線開業 1 周年の効果と影響	富山国際大学 准教授 大谷 友男 氏、当会 事業開発部 南研究員、河村研究員	36 人
11 月 14 日 (火)	ダイバーシティ・インクルージョン 経営	立命館アジア太平洋大学 准教授 篠原 欣貴 氏、(一社)九州経済連合会 田中 秀憲 氏、当会 事業開発部 河村研究員	16 人

12月12日 (火)	シン・シリコンアイランド九州の 展望と発展の方向性	(一財)機械振興協会経済研究所 特任研究員 井上 弘基 氏、(株)産業タイムズ社 特別編 集委員 津村 明宏 氏、当会 岡野常務理事	57 人
1月16日 (火)	九州の新たな1年	当会 事業開発部 河村研究員	54 人
2月13日 (火)	九州の地域経済分析	中京大学 名誉教授・経済研究所特任研究員 山田 光男 氏、当会 事業開発部 河村研究員	34 人
3月12日 (火)	コロナ後の個人消費	元(公財)流通経済研究所 主任研究員 鈴木 雄高 氏、当会 調査研究部 松嶋次長	22 人

②地域経営セミナー (計8回)

ビジネスの最前線で活躍する講師による、経営スキルアップセミナーを開催している。TSMC 進出や天神ビッグバンなどで、九州経済への関心は高まっていることから、九州に赴任された方や新社会人の方にも分かりやすく解説する「60分でわかる九州経済入門編」を5月と12月に開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
5月25日 (木)	60分でわかる九州経済 入門編	当会 岡本次長	127 人
7月27日 (木)	ゼンリンミュージアム企画展応援セミナー「クルマの地図 大集合！～68年の軌跡～」	ゼンリンミュージアム 館長 佐藤 渉 氏	45 人
8月10日 (木)	九州大学ビジネススクール応援企画 組織の変革を担う皆様へ～ビジネススクールで学ぶス クールで学ぶ意義～	九州大学ビジネスス クール 教授 小城 武彦 氏	14 人
8月25日 (金)	ビジネスはもっと楽になる！地域経済データ活用法 2023 ～事業戦略策定や商談に使える「DATASALAD」の解説 ～」	当会 渡辺研究主査	40 人
11月15日 (水)	心が折れない職場をつくる ～吉本芸人として学んだメンタル力～	NCL 合同会社 代表 夏川 立也 氏	10 人
11月22日 (水)	企業の事業拡大を支援する 次世代マーケティング講座～戦 略 PR x デジタルマーケティング＝”ラショナルマーケティ ング”～	(株)シオン 社外取締役 南 大樹 氏	13 人
12月14日 (木)	60 分でわかる九州経済 入門編～図説九州経済 2024×DATASALAD の活用法～	当会 岡本次長	62 人
1月24日 (水)	就職サイトは効果がない？中小企業が効果を出す採用とは ～鍵は自社ホームページにあり！～	(株)AliveCast チームマ ネージャー 伊藤 辰彦 氏	16 人

③共催セミナー (計3回)

BIZCOLI では、賛助会員等と共催セミナーを開催している。「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023」の開催に先立ち、(一社)アートフェアアジア福岡との共催で BIZCOLI での特別展示企画と講演会を開催した。また、産学連携の架け橋として、九州産業大学とのコラボレーションでセミナーを開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
7 月 25 日 (火)	第 11 回九州産業大学×BIZCOLI コラボセミナー「避難所を支えるインフラ～段ボール製ベッドの『居心地』の科学的解明～」	九州産業大学 建築都市工学部住居・インテリア学科 教授 香川 治美 氏 九州産業大学 人間科学部 スポーツ健康科学学科 准教授 秋山 大輔 氏	18 人
8 月 30 日 (水)	アート×資産 アートコレクター宮津大輔氏が指南する『好き』と『お金』の関係	アート・コレクター、横浜美術大学 教授 宮津 大輔 氏	70 人
2 月 16 日 (金)	第 12 回九州産業大学×BIZCOLI コラボセミナー「ロジェ・カイヨワの『遊びの 4 要素』が明かす 成功するゲームデザインの秘訣 オンラインゲームの楽しさ評価指標」	九州産業大学 経済学部 経済学科 講師 柳 永珍 氏 九州産業大学 経済学部 経済学科 講師 井上 寛 氏	13 人

④九州国立博物館応援セミナー (計 4 回)

九州国立博物館で開催される特別展にあわせて、担当学芸員が解説するセミナーをオンライン形式で開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4 月 20 日 (木)	ガラスをめぐる歴史と アールヌーヴォーのガラス	九州国立博物館 企画課 主任研究員 望月 規史 氏	29 人
7 月 21 日 (金)	1 時間で分かる！ 日本と東洋陶磁器の長く深い歴史	九州国立博物館 企画課 主任研究員 酒井田 千明 氏	36 人
10 月 27 日 (金)	古代メキシコ マヤ、アステカ、テオティワカン	九州国立博物館 展示課 主任研究員 小澤 佳憲 氏	44 人
2 月 14 日 (水)	江戸絵画のトリックスター 長沢芦雪の世界	国立文化財機構 文化財防災センター 兼 九州国立博物館 博物館科学課 主任研究員 鷲頭 桂 氏	29 人

⑤サイエンス・カフェ (計 9 回)

サイエンス・カフェは、九州大学が企画して当会が主催して行う科学者による市民向け勉強会である。大学の若手研究者が多彩なテーマで科学の最前線について話題提供している。2023 年度は、リアルまたはオンラインで開催したが、記念すべき第 100 回サイエンス・カフェは、九州大学の石橋総長（当会顧問）を講師にお迎えし、ハイブリッド形式で開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
4 月 21 日 (金)	未来の公共空間の謎に迫る！ ～みんなでつくるオープンスペース～	九州大学大学院 芸術工学研究院 環境設計部門 准教授 高取 千佳 氏	36 人
5 月 26 日 (金)	昆虫のはねの謎に迫る！ ～3 億年前から使われている 折りたたみ～	九州大学大学院 芸術工学研究院 人間生活デザイン部門 准教授 斉藤 一哉 氏	29 人
6 月 22 日 (木)	ナノ医薬とは何か！ ～工学部で医薬品開発～	東京大学大学院 工学系研究科 マテリアル 工学専攻/バイオエンジニアリング専攻 教授 宮田 完二郎 氏	31 人
8 月 4 日 (金)	肺の謎に迫る！ ～シミュレーションから形作り を解き明かす～	九州大学大学院 医学研究院 系統解剖分野 助教 今村 寿子 氏	20 人

9月8日 (金)	砂漠の謎に迫る！ ～乾燥地の自然と人々～	九州大学学術研究都市推進機構（OPACK） 研究主幹/名誉教授 大槻 恭一 氏	28人
10月20日 (金)	超元気な分子の謎に迫る！ ～光エネルギーを手にした分子の底力～	九州大学 大学院理学院 化学部門 准教授 宮田 潔志 氏	31人
12月22日 (金)	二酸化炭素の循環の謎に迫る！ ～二酸化炭素は燃料になり得るのか～	九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 助教 富崎 真衣 氏	29人
1月25日 (木)	デザインって何？～これがデザイン！、こうやってデザイン！、これもデザイン！～	九州大学 芸術工学部 未来構想デザインコース 九州大学総長補佐/教授 尾方 義人 氏	39人
3月15日 (金)	目の大切さ～視力が低下する病気とその治療～	九州大学 総長（当会 顧問） 石橋 達朗 氏	会場 36人 オンライン 74人

⑥BIZCOLI 倶楽部 （1回）

BIZCOLI 倶楽部は、教養を深める少人数のセミナーとして 2015 年度に開始した。2023 年度は、世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」登録 5 年、小説『沈黙』の著者である遠藤周作の生誕 100 年にあたることから、潜伏キリシタンをテーマに開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
9月19日 (火)	民衆が受けとめた実像のキリシタン信仰とは	元長崎純心大学 教授／宗教学者 宮崎 賢太郎 氏	8人

⑦ビッグデータセミナー （1回）

地域分析を行う上でデータサイエンティストに求められる技能や、ノウハウを学ぶセミナーを開催した。

日 程	テーマ	講 師	参加者数
11月28日 (火)	データを使った地域活性化のためのマーケティング～人の流れを知り、生活者の声を知り、打ち手につなげる～	CCC ホールディングス(株)/CCC マーケティング総合研究所 戦略コンサルティンググループリーダー 深井 翔 氏 当会 小柳 客員研究員	61人

3. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLI は、「九州における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトにした経済図書館である。知の集積拠点としては、業界専門書籍やマーケティング関連書籍の充実を図り、新聞記事等のインターネットによる検索サービスを提供している。知の交流拠点としては、セミナーやイベントを開催して人が集まり交流を促す場を提供している。知の創造拠点としては、企業との共同展示を通じてアイデアの創出や発想の転換を促進している。また、ビジネスに集中できるマイデスクゾーン（個室）を提供しており、企画書作成や自己研鑽の空間として活用されている。

（１） 地域経済図書館としてのサービス

①BIZCOLI の利用状況

新型コロナウイルスが 5 類感染症に移行したこともあり、2023 年度の利用者は 17,966 人と、対前年度比 18%増となった。コロナにより大きく減少した利用者数は、2019 年度比 87%まで回復している。

BIZCOLI 利用者数

年 度	利用者数	年 度	利用者数	年 度	利用者数
2012 年度	8,044 人	2016 年度	16,984 人	2020 年度	12,057 人
13 年度	12,238 人	17 年度	16,743 人	21 年度	13,599 人
14 年度	13,479 人	18 年度	18,461 人	22 年度	15,163 人
15 年度	15,486 人	19 年度	20,544 人	23 年度	17,966 人

②企業・団体との共同展示

BIZCOLI では、書籍や資料のほか、地域内のプロジェクト、企業の新製品・新サービス、話題のグッズなどを展示することで、豊かな発想につながる仕掛けづくりに努めている。2023 年度は 28 件の行政や企業、団体等と連携して、常設・企画展示を行った。

常設展示

企業・団体名	展示物など
大分県	パンフレット、関連統計書など
沖縄県	パンフレット、関連統計書など
鹿児島県	パンフレット、関連統計書など
ギャラリー風	絵画の提供
九州エネルギー問題懇話会	書籍、資料の提供
(一社)九州観光推進機構	写真、資料の提供
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
九州防衛局	防衛年鑑、地図など
熊本県	パンフレット、関連統計書など
熊本市	パンフレット、関連統計書など
佐賀県	パンフレット、関連統計書など
㈱ゼンリン	交流ラウンジの地図

長崎県	パンフレット、関連統計書など
(一社)日本内部監査協会	書籍、資料の提供
福岡県	パンフレット、関連統計書など
福岡財務支局	日本経済の「今」がわかる 関係資料
福岡市	パンフレット、関連統計書など
みぞえ画廊	絵画の提供
宮崎県	パンフレット、関連統計書など
㈱安川電機	双腕ロボットの模型
山口県	パンフレット、関連統計書など

企画展示

企業・団体名	展示物など
(一社)九州経済連合会	写真、資料の提供
九州旅客鉄道㈱	西九州新幹線関連のパネル、パンフレットなど
㈱QPS 研究所	同社の高精細小型レーダー衛星「QPS-SAR」の部品展示
絶景九州	写真の展示（パネル、タブレット）
日本通運㈱	ホワイト物流関連資料など
㈱ナカバヤシ	脱プラ・廃プラシリーズ「asue」商品、資料の提供
㈱野村総合研究所	パネル「未来年表 2019-2100」の展示

（２）会議室の利用状況

2023 年度の BIZCOLI 内にある講演会・セミナー会場の外部利用による収益額は、対前年同期比 60%増の 160 万円であった。マイデスクゾーンは 3,190 時間の利用があり、収益額は対前年同期比 3%減の 31 万 9 千円であった。

（３）スキルアップ・リモートワークのための個室空間の提供

電話や Web 会議など、周囲を気にせずに利用できるひとり用の個室空間として、リモートミーティングボックスを提供しており、2023 年度は延べ 473 時間の利用があり、対前年同期比 22%増の 18 万 9 千円であった。

4. 経済団体等支援事業

(1) 福岡経済同友会の事務局

会員数 460名（2024年3月末現在）
2023年度決算 84,718千円

2023年度の主な活動（福岡経済同友会／九州経済同友会）

福岡経済同友会	・通常総会、常任幹事会、幹事会の開催 ・例会の開催 ・各委員会において講演会等を開催 ・県立高等学校、市立中学校への出前講座の開催 ・春秋会（ゴルフコンペ） ・カップリングパーティー（婚活支援）
九州経済同友会	・九州経済同友会大会（福岡） ・代表幹事会 ・企画委員会 ・西日本経済同友会代表者会議 ・九州地域戦略会議、同会議で実施が決定した個別プロジェクト会議への参加 ・九州経済を考える懇談会

*その他、講演会や会合などを開催 上記を含む総会合数 147回（うち共催・後援 14回）

(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局

九州を代表する経済団体のトップが、九州経済の重要課題について認識を共有し、課題解決の方向性について議論するものである。2010年度に「地域経営を考える政策懇談会」として開始された（2013年1月に名称変更）。（一社）九州経済連合会、（一財）九州オープンイノベーションセンター、（公財）九州経済調査協会の三者が共同事務局を組織して運営、当会理事長がコーディネーターを務めている。2023年度は以下の内容で開催した。

日時・場所	テーマ	参加者
【第1回】 7月5日（水） （一社）九州経済連合会	1) シリコンアイランド九州の復活に向けて（事務局より提案、福岡アジア都市研究所 安浦理事長の講演ののち討議） 2) 九州と韓国との経済交流活性化について（事務局より報告、「2030年国際博覧会の釜山招致実現に向けた支援に関する要望」提案ののち討議）	（一社）九州経済連合会 会長 倉富 純男 氏（座長） ※九州経営者協会 会長を兼任 九州商工会議所連合会 会長 谷川 浩道 氏 九州経済同友会 代表委員 青柳 俊彦 氏
【第2回】 2月7日（水） （一社）九州経済連合会	1) 九州の食料安全保障の確立に向けて（日本政策金融公庫 九州地区統括 柴田氏より「農業等を取り巻く情勢変化と日本公庫（農林水産事業）の取組み」について講演ののち討議） 2) 新生シリコンアイランド九州の実現に向けて（事務局より「産官学金協議の場」の進捗について報告ののち討議） 3) 構造的な賃上げによる経済好循環の実現に向けて（九州経済4団体連名の文書発出について討議）	（一財）九州オープンイノベーションセンター 会長 瓜生 道明 氏 （コーディネーター）当会 縄田 理事長

（３）地域政策デザインスクールの事務局

「地域政策デザインスクール」（理事長：福田 晋 九州大学 理事・副学長）は、社会人と九州大学大学院生を対象に、自律的な地域経営を担う高度人材の育成と、社会課題の解決に貢献する教育・研究を目的に、2010 年度から開始した九州大学のセミナーである。九州大学、（一社）九州経済連合会、（一財）九州オープンイノベーションセンター、（株）西日本新聞社、福岡地域戦略推進協議会、そして当会が実行委員会メンバーとなっている。

2023 年度は、69 名（受講生 36 名、聴講生 33 名）が受講した。受講生は、太宰府市、柳川市、嬉野市、平戸市、菊池市の 5 自治体と連携して政策提言づくりに取り組んだ。5 月に開講し、11 月に政策研究発表会を開催した。

地域政策デザインスクール 講師一覧

氏 名	所 属
永田 晃也	九州大学 教授、科学技術イノベーション政策教育研究センター（CSTIPS）センター長
石丸 修平	福岡地域戦略推進協議会 事務局長／九州大学 客員教授
濱 久人	（株）彩成コンサルティング 代表取締役社長
原口 唯	（株）YOUI 代表取締役／九州大学 客員准教授
崎田 恭平	（株）飢肥社中 代表取締役
馬田 隆明	東京大学 FoundX ディレクター
佐々木 久美子	（株）グルーヴノーツ 代表取締役会長
村岡 浩司	（株）一平ホールディングス 代表取締役社長
脇 雅昭	神奈川県理事、宮崎大学客員教授、よんなな会発起人

（４）九州地域ソーシャルビジネス・コンソーシアムの事務局

2020 年度に休眠預金等活用制度による「ソーシャルビジネス循環モデル地域形成事業」に採択され、その推進母体となるコンソーシアム事務局を幹事団体である当会が運営している。事業の詳細は、前述のとおりである。なお、2023 年度末の事業終了に伴って事務局業務も終了となる。

5. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、行政や経済団体等への委員派遣、大学への非常勤講師の派遣、テレビ・ラジオへの出演、新聞・雑誌への取材対応と掲載、雑誌等への寄稿等を行った。なお、下表以外に、外部主催の講演会への講師派遣やセミナー等への参加・企画協力を行っている。詳細については、巻末の資料編に掲載している。

対外活動実績

区 分	内 容	件数等
(1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣	【行政】 九州経済産業局、九州地方整備局、九州農政局、九州管区行政評価局、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、飯塚市、糸島市、行橋市、鳥栖市、熊本市 【団体】 (公財)飯塚研究開発機構、(公財)経営者顕彰財団、(公財)福岡アジア都市研究所、(公財)福岡県産業・科学技術振興財団、(公財)福岡県リサイクル総合研究事業化センター、(一財)機械振興協会、(一社)日本リビングラボネットワーク、福岡アジア高齢社会デザイン協議会、科学技術政策研究院(韓国)	就任件数 計 21 件
(2) 大学への非常勤講師の派遣	福岡大学 ＊1 コマの派遣は含まず	計 1 大学 1 講座
(3) テレビ・ラジオ等への出演	NHK、フジ系（東海テレビ、関西テレビ）、KNB 北日本放送、福井テレビ（フジ系）、名古屋テレビ、FBS、RKB、KBC、NBC、テレ Q、NBC 長崎放送、TKU ニュース、テレビ宮崎	延 21 回
(4) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載	【全国紙】 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、産経新聞、共同通信ニュース 【地方紙】 西日本新聞、佐賀新聞、長崎新聞、熊本日日新聞、大分合同新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、琉球新報、沖縄タイムス、山口新聞 北海道新聞、秋田魁新報、河北新報北陸中日新聞、信濃毎日新聞、北日本新聞、富山新聞、北國新聞、福井新聞、静岡新聞、中日新聞、京都新聞、山陽新聞、中国新聞、四国新聞、愛媛新聞 【専門紙】 日本経済新聞、日経産業新聞、日経 MJ、日経 BP ガバメントテクノロジー 日刊産業新聞、日刊工業新聞、日刊建設工業新聞、建設通信新聞、日刊電波新聞、電気新聞、日本食糧新聞、日刊海事プレス、ニッキン 【雑誌】 サンデー毎日、ふくおか経済、週刊エコノミスト 【電子版・オンライン】 日本経済新聞電子版ニュース、日経速報ニュースアーカイブ、西日本新聞 me、熊日電子版、ニッセイ基礎研究所 Web サイト、yahoo!ニュース、TBS NEWS DIG 【海外、他】 ロイター通信ニュース、朝鮮日報、中央日報、釜山日報、PR TIMES、EE Times Japan、NIKKEI Financial、J-Pulse 国際金融レポート	延 386 件
(5) インターンシップの受入等	インターンシップ：宮崎大学大学院生 1 名 (11 月 20 日 (月)～11 月 24 日 (金))	1 名

6. 会務運営

(1) 理事会・評議員会・幹事会・企画委員会・参与会の開催

公益財団法人に移行して11年目を迎え、理事会、評議員会の決議の下、適正な組織運営を行っている。2023年度は、理事会を5回、評議員会を4回開催、幹事会を2回、企画委員会を1回開催した。

①理事会の開催状況

開催日	開催理事会	議 案 等
5月23日 (火)	第52回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和4年度事業報告（案）について 第2号議案 令和4年度決算（案）について 第3号議案 顧問、参与の委嘱について 第4号議案 九経調地域研究助成事業 助成先の決定について 第5号議案 評議員会の招集について 第6号議案 役員退職慰労金の支給について 【報告事項】 第1項 その他
6月14日 (水)	第53回理事会	【決議事項】 第1号議案 代表理事の選定について 第2号議案 業務執行理事の選定について 第3号議案 役員報酬について 第4号議案 幹事の選任について 第5号議案 顧問、参与の委嘱について 第6号議案 評議員会の招集について 第7号議案 その他
8月18日 (金)	第54回理事会 (書面)	【決議事項】 第1号議案 幹事の選任について 第2号議案 参与の委嘱について
10月20日 (金)	第55回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和5年度更正予算（案）について 第2号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 令和5年度上期事業報告について 第2項 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 第3項 幹事会の開催について 第4項 企画委員会の開催について 第5項 その他
3月5日 (火)	第56回理事会	【決議事項】 第1号議案 令和6（2024）年度事業計画（案）について 第2号議案 令和6（2024）年度予算（案）について 第3号議案 役員報酬について 第4号議案 内閣府への定期提出書類について 第5号議案 幹事の選任について 第6号議案 顧問、参与の委嘱について 第7号議案 評議員会の招集について 【報告事項】 第1項 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 第2項 その他

②評議員会の開催状況

開催日	開催評議員会	議 案 等
6 月 13 日 (火)	第 36 回評議員会	【決議事項】 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告（案）について 第 2 号議案 令和 4 年度決算（案）について 第 3 号議案 理事の選任について 第 4 号議案 評議員の選任について 【報告事項】 第 1 項 顧問、参与の委嘱について 第 2 項 九経調地域研究助成事業 助成先の決定について 第 3 項 その他
7 月 21 日 (金)	第 37 回評議員会 (書面)	【決議事項】 第 1 号議案 評議員の選任について
11 月 7 日 (火)	第 38 回評議員会	【報告事項】 第 1 項 令和 5 年度上期事業報告について 第 2 項 令和 5 年度更正予算について 第 3 項 幹事会の開催について 第 4 項 企画委員会の開催について 第 5 項 その他
3 月 15 日 (金)	第 39 回評議員会	【報告事項】 第 1 項 令和 6（2024）年度事業計画について 第 2 項 令和 6（2024）年度予算について 第 3 項 役員報酬について 第 4 項 幹事の選任について 第 5 項 顧問、参与の委嘱について 第 6 項 その他

③幹事会の開催状況

開催日	開催幹事会	議 案 等
10 月 27 日 (金)	第 17 回幹事会 (書面)	1 幹事会議長、副議長の選定について
1 月 31 日 (水)	第 18 回幹事会	1 2023 年度幹事会からの提案による自主研究の報告 2 2024 年度幹事会からの提案による自主研究のテーマ選定

④企画委員会の開催状況

開催日	開催企画委員会	議 案 等
12 月 26 日 (火)	企画委員会	1 令和 5 年度自主研究の報告 2 令和 6 年度自主研究テーマ（案）について 3 その他

（２）財務経理・人事労務並びに人材育成の強化

新公益法人制度の下、主務官庁の内閣府に対して、6 月に 2022 年度事業報告・財務諸表等を提出した。人事労務については、新たな調査研究ニーズや会員維持拡大業務に対応できる人材の採用活動を進めている。また、当会では研究員の資質向上に取り組み、専門分野に偏らない、新しい分野への知見の蓄積を進めている。このほか、外部との交流を積極的に行うことで、各研究員がネットワークを広げることを重視している。なお、新卒採用強化に向けて、厚生労働省が認定する「ユースエール」（若手の採用・育成に積極的な企業を認定）と、「えるぼし」（女性の活躍推進への取組みが優良な企業を認定）を 2021 年度より継続取得している。

（３）会員維持・拡大

①賛助会員

データサラダや BIZCOLI、セミナー、講師派遣、職員のネットワークなどを通じて、全職員一丸となって会員拡大に努めた。2023 年度の入会件数は前年度を 5 件下回る 19 件であったものの、普通会員から維持会員への転換による口数増加があり 36 口となった。退会件数は 33 件であり、会員数は期首 578 会員から 14 会員純減して 564 会員となった。会費実勢額は 1 億 2,808 万円である。

賛助会員の動向

	合 計				
		維持会員	普通会員	個人会員	町村会員
2023 年度期首	578	83	471	21	3
入 会	19	5	14	0	0
退 会	33	0	31	2	0
増 減	-14	5	-17	-2	0
会員種別変更	0	2	-2	0	0
2023 年度末	564	90	452	19	3

- ・ 2015 年度末 会員数 576 会員 ・ 会費実勢額 1 億 2,648 万円
- ・ 2016 年度末 会員数 574 会員 ・ 会費実勢額 1 億 2,574 万円
- ・ 2017 年度末 会員数 583 会員 ・ 会費実勢額 1 億 2,649 万円
- ・ 2018 年度末 会員数 593 会員 ・ 会費実勢額 1 億 2,791 万円
- ・ 2019 年度末 会員数 590 会員 ・ 会費実勢額 1 億 2,796 万円
- ・ 2020 年度末 会員数 570 会員 ・ 会費実勢額 1 億 2,505 万円
- ・ 2021 年度末 会員数 572 会員 ・ 会費実勢額 1 億 2,669 万円
- ・ 2022 年度末 会員数 578 会員 ・ 会費実勢額 1 億 2,818 万円
- ・ 2023 年度末 会員数 564 会員 ・ 会費実勢額 1 億 2,808 万円

②BIZCOLI 会員

2023 年度の会員数は、期首 99 会員から 19 会員純増して期末には過去最高の 118 会員となった。会費実勢額（月会費×12 ヲ月）は、2023 年度末で 871 万円となった。

BIZCOLI 会員の内訳 （118 会員）

種 別	会員数	種 別	会員数
フルタイム	4	フルタイム+土曜日	5
デイトタイム	16	デイトタイム+土曜日	2
ナイトタイム	45	ナイトタイム+土曜日	23
土曜日	23	合 計	118

(参考)

1. 外部主催の講演会への講師派遣（計 64 件）

調査研究業務を通じて蓄積した知見は、地域貢献の一環として幅広く公開している。2023 年度は 64 件の講師派遣を行った。

講師派遣一覧

日 程	依 頼 先	会合名・タイトル	講 演 者	参加者数
4 月 8 日 (土)	福岡県中小企業診断士協会福岡南部会	2023 年度総会基調講演「九州新幹線全線開業 10 年の効果と影響、今後の展望」	岡野部長	31 人
4 月 15 日 (土)	長崎県立大学	地域創造概論 九州地域の観光復興に向けて～スマホデータにみる観光行動の変容と観光地の対応	松嶋次長	150 人
4 月 19 日 (水)	北九州商工会議所	北九州商工会議所健康福祉サービス部会 高齢化に対応した産業振興・シルバーサービス	松尾研究主査	22 人
4 月 26 日 (水)	三菱電機(株)九州支社	九州支社経営方針説明会 九州経済の見通しについて	相川研究員	55 人
5 月 9 日 (火)	(公財)九州大学学術研究都市推進機構	2023 年度総会 農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォームに関する意見交換	能本次長	40 人
5 月 10 日 (水)	三菱電機(株)九州支社	BI 会 九州の都市配置と福岡の発展について	岡野部長	30 人
5 月 26 日 (金)	国立研究開発法人産業技術総合研究所	第 47 回 AI チップ設計拠点フォーラム 九州における半導体産業の特徴とポテンシャル	岡野部長	142 人
5 月 26 日 (金)	日本証券アナリスト協会	2023 年度第 1 回九州地区交流会	松嶋次長	25 人
5 月 29 日 (月)	北九州市立大学	環境都市論 再生可能エネルギーの動向	松嶋次長	150 人
6 月 14 日 (水)	三菱電機(株)九州支社	BI 会 九州の都市配置と福岡の都市開発	渡辺研究主査	25 人
6 月 29 日 (木)	(株)福岡銀行飯塚支店	九州の景気見通し	藤井次長	50 人
7 月 5 日 (水)	(公財)北九州観光コンベンション協会	西日本製造技術イノベーション 2023「半導体産業支援セミナー」 シリコンアイランド九州のポテンシャル	岡野常務理事	82 人
7 月 11 日 (火)	日経 BP 総合研究所	観光 DX：地域訪問者（旅行、出張）の財布を狙った消費喚起策 九州発観光 DX「おでかけウォッチャー」の活用事例について	岡野常務理事	167 人
7 月 14 日 (金)	北海道商工会議所連合会	第 10 回新幹線研究会 九州新幹線全線開業 10 周年と西九州新幹線開業半年から見た経済効果について	岡野常務理事	37 人
7 月 19 日 (水)	(一社)九州経済連合会	九経連 会長円卓会議 シリコンアイランド九州のポテンシャルと未来	岡野常務理事	18 人
7 月 20 日 (木)	(一財)みやぎん経済研究所	六社会交流会 九経調の自主研究事業、調査技法セミナーの実施について	松嶋次長	6 人
7 月 22 日 (土)	中央大学	地域システム 九州の半導体クラスターの新しいシナリオ	岡野常務理事	15 人
8 月 1 日 (火)	大牟田市	有明海沿岸地域振興フォーラム アフターコロナ時代の九州の観光復興に向けて	岡野常務理事	98 人
8 月 2 日 (水)	東九州自動車道建設促進協議会	東九州自動車道建設促進地方大会基調講演 九州の経済発展と交流インフラ	岡野常務理事	460 人
8 月 9 日 (水)	(株)福山コンサルタント	(株)福山コンサルタント研修会 九州における脱炭素ビジネスの現状と将来展望	藤井次長	70 人
8 月 21 日 (月)	(一社)福岡県中小企業経営者協会連合会	成長産業企業発見インターンシップ 成長産業企業、福岡の成長戦略について	岡野常務理事	80 人

日 程	依 頼 先	会合名・タイトル	講 演 者	参加者数
9月8日 (金)	九州軟包装部会・日本ポリエチレンラミネート製品工業会員九州支部	夏季セミナー 九州地域の景気見通しとデジタル化	相川研究員	30人
9月13日 (水)	亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科	亜細亜大学トップマネジメント特別講義 九州の経済情勢～経済発展と交流インフラ	岡野常務理事	34人
9月13日 (水)	Eisai Korea、 (協)SoiLAB	市民と企業の社会イノベーション実践ワークショップ 「おたがいさまコミュニティ」 地域コーディネーターと事例（研究開発成果の概要）	原口研究主査	26人
9月15日 (金)	大和証券㈱エクイティ投資部	機関投資家向けセミナー 九州の消費動向	片山部長	72人
9月15日 (金)	大分県	豊予海峡ルートに関する庁内会議 豊予海峡ルート・東九州新幹線や九州経済（半導体産業等）について	岡野常務理事	20人
9月16日 (土)	九州産業大学	次世代観光マネジメントリーダー育成プログラム データリテラシー	渡辺研究主査	130人
10月3日 (火)	久留米大学 西尾ゼミ	九州経済と九州企業	岡本次長	20人
10月5日 (木)	九州大学大学院システム情報科学研究院	価値創造型半導体人材育成センター シリコンアイランド九州のポテンシャルと今後の展望	岡野常務理事	21人
10月8日 (日)	九州産業大学	次世代観光マネジメントリーダー育成プログラム 地域資源の活用	松嶋次長	130人
10月19日 (木)	ユーオス・グループ 九州支部	UOS 支部会 九州の経済・産業動向と今後の展望について	岡野常務理事	28人
10月23日 (月)	観光庁（NTT コミュニケーションズ㈱）	Next Tourism Seminar Teme2 おでかけウォッチャーについて	渡辺研究主査	150人
10月24日 (火)	九州電力㈱東京支社	九州の企業誘致	藤井次長	44人
10月26日 (木)	福岡商工会議所	福岡商工会議所 食料・水産部会 福岡都市圏マーケットの展望とポテンシャル	松嶋次長	50人
11月2日 (木)	九州産業大学	九州産業大学産業経営研究所設立 60 周年記念講演会 九州経済の特徴と展望	岡本次長	65人
11月2日 (木)	内閣府沖縄総合事務局	シリコンビーチ沖縄フォーラム ～シリコンビーチ沖縄の未来～立地企業のつながりについて	岡野常務理事 相川研究員	50人
11月12日 (日)	九州大学ビジネススクール短期エグゼクティブ・プログラム事務局	九州大学ビジネススクール社会連携事業 短期エグゼクティブ・プログラム 30 年後に向けた九州地域発展戦略	片山部長	25人
11月13日 (月)	第 5 回全国リビングラボネットワーク会議実行委員会	第 5 回全国リビングラボネットワーク会議 テクノロジーや政策の効果的な社会実装に向けて	原口研究主査	30人
11月16日 (木)	九州ビルディング協会	11 月例会 半導体産業を取り巻く潮流とシリコンアイランドの未来	岡野常務理事	50人
11月27日 (月)	三菱電機㈱九州支社	九州経済の最新状況と見通しについて	相川研究員	40人
11月27日 (月)	大分経済同友会	大分経済同友会交通ネットワーク委員会 九州の経済情勢と交流インフラ	岡野常務理事	34人
12月6日 (水)	SMBC 日興証券㈱	海外機関投資家勉強会 シリコンアイランド九州のポテンシャルと未来	岡野常務理事	24人
12月7日 (木)	SMBC 日興証券㈱	機関投資家向けオンラインセミナー シリコンアイランド九州の構造と将来展望	岡野常務理事	68人
12月14日 (木)	㈱大和証券グループ本社	機関投資家 VIP 向けセミナー 九州の消費について	片山部長	10人
12月14日 (木)	(一社)九州経済連合会	第 16 回沖縄連携フォーラム 半導体産業を取り巻く、九州・沖縄のダイナミズム	相川研究員	87人
12月20日 (水)	(一社)九州経済連合会	九経連会長円卓会議 シン・シリコンアイランド九州の展望と発展の方向性	岡野常務理事	24人

日 程	依 頼 先	会合名・タイトル	講 演 者	参加者数
12月20日 (水)	嬉野市	佐賀地域経済研究会 九州地域の観光復興に向けて	松嶋次長	20 人
12月22日 (金)	(一財)アジア太平洋研究所	関西経済の持続的発展に向けた望ましい産業構造とは～中部・九州の事例から学ぶ	松嶋次長	100 人
1月11日 (木)	柳川商工会	柳川商工会 2024 年の九州経済の展望	河村研究員	60 人
1月15日 (月)	西南学院大学	西田ゼミ、藤川ゼミ、戸田ゼミ共同研修会 九州地域経済分析プラットフォーム「データサラダ」に関する研修指導	渡辺研究主査	50 人
1月17日 (水)	佐賀大学	佐賀県内の半導体事情	藤井次長	176 人
1月18日 (木)	九州工業大学	情報工学専攻 半導体トピックセミナー シリコンアイランドの進化とポテンシャル	岡野常務理事	30 人
1月19日 (金)	篠原アソシエイツ(株)	関与先経営者様向けセミナー 2024 年九州経済の行方について	岡野常務理事	59 人
1月19日 (金)	(一社)九州ニュービジネス協議会	新春九州NBCオープンセミナー 2024 年の九州経済見通しについて	河村研究員	52 人
1月22日 (月)	大分県	九州・四国広域交通ネットワークシンポジウム	岡野常務理事	400 人
2月15日 (木)	九州大学大学院経済学研究	InfoCom 情報経済研究会 九州における半導体産業の歩みと現状並びに今後の展望について	岡野常務理事	20 人
2月21日 (水)	(一社)九州地域づくり協会	第 10 回地域づくり政策セミナー 自立できる地域づくり～地域の魅力を発見・発信そしてつなぐ～	岡野常務理事	134 人
2月22日 (木)	九州旅客鉄道(株)	社内社員向け研修(九州デイ)講演 九州第五浮揚期実現へ～その状況と条件	片山部長	100 人
2月29日 (木)	SMBC 日興証券(株)	海外投資家勉強会 Future Potential and Outlook of "Silicon Island" Kyushu	岡野常務理事	14 人
3月5日 (火)	農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム	農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム総会・意見交換会	能本次長	50 人
3月6日 (水)	(株)福岡リアルティ	社内社員向け研修講演 2024 年福岡・九州マーケットの現況と今後の展望	片山部長	50 人
3月21日 (木)	和歌山県	未来を創る高速交通インフラ 新幹線の地域での影響と活用～西九州新幹線開業 1 年を事例に～	南研究員	60 人
3月22日 (金)	唐津市	唐津地域経済研究所に係る統計・分析セミナー 経済・統計データの利活用	渡辺研究主査	20 人
3月29日 (金)	旭川商工会議所	新幹線効果やまちづくりについて～九州新幹線全線開業 10 年の効果と影響～	南研究員	54 人

2. セミナー等への参加・企画協力（計 17 件）

産学官が主催し、当会が賛同するセミナーについては、告知や集客、BIZCOLI の会議室提供などで協力している。

協力実績一覧

日程・場所	主 催 者	会 合 名	備 考
8 月 29 日（火） ハイブリッド開催	（一社）九州ニュービジネス協議会	第 154 回ベンチャープラザ二月会 「ビジネスプラン発表を通じたビジネスチャンスの拡大！」	後援
7 月 28 日（金） オンライン開催	（公社）日本マーケティング協会	メディアはこれからどうなっちゃうか、 どうしたらいいか ～世界の潮流もちゃんと見て、新しいメディアと広告を発明しよう～	後援
9 月 26 日（火） ハイブリッド開催	（公財）福岡アジア都市研究所	2023 年度 第一回都市セミナー	後援
11 月 1 日（水） 電気ビル共創館	福岡経済同友会、福岡県	第 11 回社会貢献セミナー	後援
11 月 2 日（木） 九州産業大学	九州産業大学	九州産業大学産業経営研究所 設立 60 周年記念講演会	後援
11 月 13 日（月） ハイブリッド開催	（一社）九州ニュービジネス協議会	第 155 回ベンチャープラザ二月会 「ビジネスプラン発表を通じたビジネスチャンスの拡大！」	後援
11 月 22 日（水） 電気ビル共創館	（一社）九州経済連合会	SDGs への貢献につなげる 九州マッチング会	後援
12 月 6 日（水） オンライン開催	（公社）日本マーケティング協会	カテゴリーからアリーナへ～生活者の享受価値から競合環境を捉え直す	後援
12 月 11 日（月） ハイブリッド開催	（公財）福岡アジア都市研究所	2023 年度 第二回都市セミナー	後援
12 月 11 日（月） ハイブリッド開催	（公財）九州大学学術研究都市推進機構	九州大学学術研究都市セミナー in 東京 2023	後援
12 月 13 日（水） ハイブリッド開催	九州先端科学技術研究所 IST	福岡空のモビリティ講演会 第 1 回空の産業・移動革命と都市デザイン	後援
12 月 16 日（土） ハイブリッド開催	鹿児島インパクト投資普及 連合会	「インパクト投資」で地球課題を解決 ～鹿児島での可能性～	後援
2 月 13 日（火） ハイブリッド開催	JST RISTEX RInCA	福岡空のモビリティ講演会 第 3 回プログラム	後援
2 月 15 日（木） 北九州国際会議場	（株）西日本新聞社	北九州 DX カンファレンス 2024 「デジタル活用で描く企業と都市の未来」	後援
3 月 5 日（火） ハイブリッド開催	農林水産物の輸出促進研究 開発プラットフォーム@九州・ 沖縄	農林水産物の輸出促進研究開発プラットフォーム@九州・ 沖縄「第 3 回シンポジウム」	後援
3 月 11 日（月） ハイブリッド開催	JST RISTEX RInCA	福岡空のモビリティ講演会 第 4 回：未来の都市・社会の形	後援
3 月 11 日（月） ハイブリッド開催	（一社）九州ニュービジネス協議会	第 156 回ベンチャープラザ二月会 「ビジネスプラン発表を通じたビジネスチャンスの拡大！」	後援